

こたえ と かいせつ

Q 91 物やサービス、情報、人、お金などが、国境を越えて自由に行き来し、世界全体が一体化していく動きを何というでしょう？

こたえ 2 グローバル化
(グローバルゼーション)

グローバル化は、交通や情報通信技術の発達などにより、ヒト・モノ・カネ・情報などが国境を越えて、地球規模で移動・交流し、世界の一体化が進む現象のことです。経済面では、多国籍企業の活動拡大や貿易・投資の自由化が進み、文化面では、様々な国の文化が交流し影響し合っています。グローバル化は、経済成長や国際協力の促進などのメリットがある一方、国家間の格差拡大、文化の画一化、地球環境問題の深刻化などの課題も指摘されています。

Q 92 コンピューターやインターネットなどの情報通信技術 (ICT) が社会の隅々まで普及し、私たちの生活や経済活動に大きな影響を与えている社会を何というでしょう？

こたえ 3 情報化社会
(情報社会)

コンピューターやインターネット、スマートフォンなどの情報通信技術 (ICT) が高度に発達・普及し、情報の生産、流通、消費が社会や経済の中心的な役割を担うようになった社会のことです。私たちは、インターネットを通じて瞬時に世界中の情報を手に入れたり、離れた場所にいる人とコミュニケーションをとったり、オンラインで買い物をするなどが可能になりました。便利な反面、情報格差、プライバシー保護、情報セキュリティなどの新たな課題も生まれています。

Q 93 再生可能エネルギーの一つで、太陽の光エネルギーを直接電気に変える発電方法は？

こたえ 3 太陽光発電

太陽電池と呼ばれる装置を使って、太陽の光エネルギーを直接電気エネルギーに変換する発電方式です。発電時に二酸化炭素 (CO2) などの温室効果ガスを排出しないクリーンなエネルギーであり、太陽光がある場所ならどこでも設置できるため、近年、地球温暖化対策やエネルギー源の多様化の観点から、導入が世界的に進んでいます。天候によって発電量が左右されるなどの課題もあります。

Q 94 鎌倉幕府が、御家人たちの領地争いや権利を守るために定めた、日本で最初の武家法 (武士のための法律) は何でしょう？

こたえ 2 御成敗式目
(貞永式目)

1232 年 (貞永元年) に、鎌倉幕府の第 3 代執権・北条泰時 (ほうじょうやすとき) が中心となって制定した、日本で最初の体系的な武家法です。それまでの武士社会の慣習 (道理) や、源頼朝以来の先例に基づいて、御家人同士の領地争いや相続、守護・地頭の任務などに関する裁判の基準を、全 51 か条で具体的に定めました。これにより、公平な裁判が行われるようになり、幕府の支配体制を安定させる上で重要な役割を果たしました。

Q 95 室町時代に、明 (当時の中国) との間で行われた、正式な貿易船であることを証明する「勘合」という割符 (証明書) を使った貿易を何というでしょう？

こたえ 3 勘合貿易
(日明貿易)

室町時代の三代将軍・足利義満が始めた、明 (当時の中国) との間の公式な貿易です。当時、東アジアの海では倭寇 (わこう) と呼ばれる海賊が活動していたため、明は正式な貿易相手を制限していました。そこで、明が発行した「勘合符」という割符 (二つに割った証明書的一方) を持参した船だけを正式な貿易船と認め、貿易を行いました。日本は銅や硫黄、刀剣などを輸出し、明からは銅銭や生糸、絹織物、陶磁器などを輸入しました。

Q 96 江戸時代、長崎の出島での貿易が許されていたヨーロッパの国はどこでしょう？

こたえ 3 オランダ

江戸幕府は鎖国政策をとりましたが、完全に国を閉ざしたわけではありませんでした。キリスト教の布教を行わないという条件で、オランダとは長崎の出島 (でじま) という扇形の人工島で貿易を続けることを許可しました。オランダを通じて、ヨーロッパの文物や情報 (蘭学) が日本にもたらされ続けました。その他、中国 (清)、朝鮮、琉球王国とは、それぞれ決められた場所やルートで交易や外交を行っていました。

Q 97 江戸時代に整備された、江戸 (東京) と各地を結ぶ主要な五つの街道 (東海道、中山道など) を総称して何というでしょう？

こたえ 2 五街道

江戸幕府が重要視し、直接管理・整備した五つの主要な陸上交通路のことです。具体的には、江戸日本橋を起点とする東海道、中山道、甲州街道、日光街道、奥州街道の五つを指します。これらの街道には、宿場 (しゅくば) が置かれ、大名の参勤交代や、役人、商人、旅人など、多くの人々が往来し、物資の輸送路としても重要な役割を果たしました。

Q 98 江戸時代後期の化政文化を代表する浮世絵師で、「富嶽三十六景」などの風景画で有名なのは誰でしょう？

こたえ 1 葛飾北斎

江戸時代後期の化政文化 (かせいぶんか、19 世紀初頭ごろ栄えた江戸町人文化) を代表する浮世絵師です。風景画、美人画、役者絵、花鳥画、漫画 (『北斎漫画』) など、幅広いジャンルで数多くの傑作を残しました。特に、様々な場所から見た富士山を描いた「富嶽三十六景 (ふがくさんじゅうろっけい)」 (実際には 46 図ある) は、大胆な構図と色彩で非常に有名で、ゴッホなどヨーロッパの印象派の画家たちにも大きな影響を与えました。

Q 99 江戸時代後期の化政文化を代表する浮世絵師で、「東海道五十三次」などの風景画で有名なのは誰でしょう？

こたえ 2 歌川広重

葛飾北斎と並び称される、江戸時代後期の化政文化を代表する浮世絵師です。特に風景画を得意とし、叙情的な作風で人気を集めました。代表作である「東海道五十三次 (とうかいどうごじゅうさんづぎ)」は、江戸の日本橋から京都の三条大橋までの東海道の 53 の宿場と起終点を描いたシリーズで、当時の旅の様子や各地の風景を生生きと伝えています。彼の作品もまた、海外で高く評価されました。

Q 100 1867 年、江戸幕府の第 15 代将軍・徳川慶喜が、政権を朝廷 (天皇) に返上した出来事を何というでしょう？

こたえ 3 大政奉還

幕末、薩摩藩や長州藩などの倒幕運動が高まる中で、土佐藩の提案を受け入れたもので、これにより約 260 年間続いた江戸幕府は形式上終わりを告げました。慶喜は、政権を返上した後も、新しい政治体制の中で徳川家が実権を維持することを目指しましたが、倒幕派はこれを認めず、武力による幕府の打倒 (戊辰戦争) へと進むことになります。

Q 101 明治時代の初め、西洋の文化や生活様式が急速に入ってきて、人々の暮らしが大きく変化した風潮を何というでしょう？

こたえ 1 文明開化

明治時代の初め頃に、政府の奨励もあって、西洋の学問、技術、思想、制度、生活様式などが急速に日本に導入され、社会や文化が大きく変化した現象や風潮のことです。洋服の着用、牛肉を食べること (牛鍋)、レンガ造りの建物、ガス灯、人力車、鉄道の開通、太陽暦の採用、散髪 (断髪令) などがその例です。「ざんざり頭を叩いてみれば、文明開化の音がする」という歌も流行しました。

Q 102 明治政府が、国民から税を確実に徴収するために、土地の所有者を確定して地価 (土地の値段) を定め、その地価に基づいて現金で税 (地租) を納めさせるようにした改革を何というでしょう？

こたえ 3 地租改正

明治政府が 1873 年 (明治 6 年) から実施した税制改革です。それまでの複雑だった年貢制度を改め、(1) 土地の所有者を法的に確定し、(2) 土地の価格 (地価) を定め、(3) その地価の一定割合 (当初は 3%) を、(4) 土地の所有者が現金で納める、という新しい税の仕組みを作りました。これにより、政府は豊作・凶作に関わらず安定した税収を得ることができるようになりましたが、農民にとっては負担が重くなる場合もあり、各地で反対一揆も起こりました。

Q 103 1890 年 (明治 23 年) に、大日本帝国憲法に基づいて開設された、日本の最初の国会 (議会) を何というでしょう？

こたえ 2 帝国議会

帝皇族や華族、勅任議員 (天皇が任命した議員) で構成される貴族院 (きそくいん) と、選挙で選ばれた議員で構成される衆議院 (しゅうぎいん) の二院制をとっていました。法律の制定や予算の承認などを行いましたが、憲法上、天皇の権限が強く、議会の権限は制限されていました。第二次世界大戦後の日本国憲法の施行により、現在の国会に変わりました。

Q 104 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の内容に不満を持った人々が、東京で起こした暴動事件を何というでしょう？

こたえ 2 日比谷焼打事件

1905 年 (明治 38 年) 9 月 5 日に、日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の内容 (特に賠償金が得られなかったことなど) に反対する民衆が、東京の日比谷公園で開かれた講和反対国民大会をきっかけに暴徒化し、内務大臣官邸、交番、路面電車などを襲撃・放火した事件です。政府は戒厳令を布告して鎮圧しました。この事件は、戦争に多くの犠牲を払った国民の不満が爆発したものであり、当時の政府や社会に大きな衝撃を与えました。

Q 105 第一次世界大戦中、日本が中国に対して要求した、山東省のドイツ権益の継承や、南満州・東部内モンゴにおける日本の権益拡大などを内容とするものは何でしょう？

こたえ 1 二十一条要求

、第一次世界大戦中の 1915 年 (大正 4 年) に、大隈重信内閣が、当時の中華民国 (袁世凱政府) に対して行った一連の要求です。内容は、山東省におけるドイツの権益を日本が引き継ぐこと、南満州および東部内モンゴにおける日本の権益 (旅順・大連の租借期限延長など) を拡大すること、日本人顧問の雇用など、中国の主権を侵害するような項目も含まれていました。この要求は中国国民の激しい反発を招き、日本の対中イメージを悪化させる原因となりました。